

開催!!

2025年1月25日(土)10時~12時半
会場:日本女子体育大学

第3回広場づくりワークショップ (整備プランの具体案を考える)

参加
無料

- ・最終回となる第3回ワークショップでは、今までの意見を反映させた整備プランの具体案をみんなで確認します。
- ・今後の広場の活用の仕方や広場での活動について考えます。

これまでの広場づくりワークショップの流れ

- 第1回:7月14日(日)
広場の使い方や活動のアイデアを膨らませる
- 第2回:10月20日(日)
整備プランの方針を考える
- 第3回:1月25日(土)
整備プランの具体案を考える

3回目から申し込まれる方は、右記の2次元コードからお申し込みください。
締め切り:1月22日(水)
定員:40名(先着順)
地域住民の方など、関心のある方はどなたでも参加可。 ※参加にあたり配慮の必要な方は、開催日の2週間前までにご連絡ください。
お問い合わせ ☎ 03-6432-7910
開催当日の連絡先は ☎ 050-1809-8457



北鳥山五丁目広場 ひろばづくり通信 第6号

令和6(2024)年12月発行



広場の
整備プラン(案)を
まとめました!

詳しくは中面を
ご覧ください



花と原っぱの日

開催時間
10時から12時

月に1~2回、花壇のお手入れなどを中心に活動をしています。どなたでも参加できますので、気軽にお越しください。

2024年
12月15日(日) 12月21日(土)

2025年
1月19日(日) 2月16日(日) 3月16日(日)

※広場づくり現地体験DAYと同時開催



住民参加の取り組みのスケジュール



今はここで!

令和8年4月

リニューアルオープン

3つの広場プランイメージを参考に、
整備プランの方針を考えました。

第2回広場づくり ワークショップの報告

日時 10月20日(日)
場所 日本女子体育大学
参加者 8名

- ・これまでの経緯や意見のまとめ、前提条件の確認
- ・整備プランの方針の説明と質疑
- ・整備プランの方針に対する意見(グループワーク)

<プランに対する共通した意見>

- 中央の原っぱはできるだけ広く使いたい
- 座るところはたくさん欲しい
- 夏場などきちんと日陰になる場所が必要
- 園路は周回状で、バリアフリーのものが良い(階段はなくす)
- 入り口は複数あった方が良いが、子どもの飛び出しや道路への駐輪が不安
- 空間に変化があると楽しい(休める場所、樹木、草花、子どもの遊び場など)

グループごとに
意見を出し合いました

整備プラン(案)について
みんなで確認する
「第3回広場づくり
ワークショップ」
については、
4ページをご覧ください。



広場についての情報を発信中!



Instagram



facebook



LINE公式アカウント

お問い合わせ先

【住民参加の取り組みについて】
一般社団法人ななつのか 川崎(かわさき)
Eメール:kitakarasuyama@nanatsunoko.com
TEL:050-1809-8457 (留守電対応の場合あり)
【整備計画について】
世田谷区 みどり33推進担当部
公園緑地課 建設担当 上小牧(かみこまき)
TEL:03-6432-7910 FAX:03-6432-7989

広場づくりの方向性（案）

- この場所らしさがあり、作りこまない「のほら」
- 日常的な利用がしやすく快適で過ごしやすい環境
- さまざまな「やりたい」を実現する、おおらかな広場

みんなの原っぱ

- ・広場の中央は、できる限り広く原っぱを確保し、子どもの遊びや地域の交流の場として利用できるようにします
- ・原っぱ内は現状の雰囲気を残しつつ、築山の再整備と樹木の植栽をします

園路計画

原っぱを囲む主園路

- ・原っぱを囲み、自然になじむような曲線状の主園路を設けます
- ・舗装は歩きやすく視認性が高い透水性コンクリート舗装とします



透水性コンクリート舗装イメージ

園内を周回できるサブ園路

- ・広場を一周できる周回園路を設けます
- ・自然な景観となるよう土系舗装とします



土系舗装イメージ

植栽計画

- ・原っぱなどには夏場に日陰をつくる落葉樹を植栽します
- ・近隣の住宅に配慮して周縁部は常緑樹を中心に植栽します
- ・花や紅葉など、四季の変化を楽しめる植栽計画とします



日陰をつくる落葉樹



周縁部の常緑樹



春を彩るサクラ

エントランス・駐輪スペース

- ・既存の舗装部は、夏場の快適性を向上させるため遮熱塗装とします

お休みどころ

- ・日陰でゆったり休憩できるようにパーゴラを設置します
- ・パーゴラの下には、休憩や交流ができるベンチやテーブルを設けます
- ・パーゴラの近くには手洗いを設けます

さくらの小庭

- ・既存の早咲きサクラに加えて、咲く時期が異なるサクラを数本新たに植栽することで、春に桜の花を楽しめるコーナーをつくります
- ・既存サクラの足元は、樹木保護のためウッドチップとします



ウッドチップイメージ

雨水をゆっくり浸透させるグリーンインフラ

- ・原っぱや園路沿いには、砂利や土により雨水を浸透させる排水施設をつくります

生き物に配慮した土留め

- ・一部の法面には、生き物の隠れ家となる石積み等をつくります



土留めイメージ

南出入口

- ・緊急時の避難や日常的な利便性のため出入口を新設します
- ・子どもの飛び出し防止など安全に利用されるような設えとします

花壇

- ・ボランティアで管理する花壇エリア



草ムラ

- ・生き物のすみかとして雑草を刈り残すエリア



開放時間

- ・整備後も現在と同様に夜間は閉鎖する予定ですが、開放時間を長くするよう検討します